

写真で綴る狭山の 橋



平成 20 年 3 月 15 日(土)～6 月 8 日(日)
狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山 1-23-1 (狭山稲荷山公園内)

電話：04-2955-3804 FAX：04-2955-3811

<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum/>

- ◇西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
- ◇西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅行」終点で下車、徒歩3分
- ◇圏央道狭山日高インターより車で15分
- ご来館は電車・バスのご利用が便利です。

■休館日：3月17・21・24・28日

4月14・21・25・28・30日

5月7・12・19・23・26日

6月2日

■開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

■入館料：一般 150円(100円)

高・大生 100円(60円)

小・中生 50円(30円)

()内は20名以上の団体料金

R100



開催にあたって

本四連絡橋の開通により四国と本州の距離が縮まったことは記憶に新しいところです。当市は市域の中央やや北よりに入間川が、南部には不老川がそれぞれ市を分断するかのよう流れており、またこの川に平行に小河川がいくつも流れています。このため、橋がたくさん架かっています。当市では平成16年に入間川に架かる11番目の「いるまがわ大橋」が完成しました。

川は土地を分断し、分断された土地は、独自の歩みをします。それはその土地の風土といえるでしょう。物流で見ると川は、流れに沿っては大動脈となりますが、いざ横切るとなると物流の流れを阻害する大きな要因になります。

橋ができる前は、入間川では渡しがありました。渡しは天候や時間に左右され、天気が悪いと物資は停滞します。橋と渡し船との違いは、橋を「渡る人が渡ろうと意志決定をしたらいつでも誰の手を借りることなく渡れるもの」と定義すれば自ずと明らかになります。

橋の建設は、川が大きくなるに従って難しくなります。橋を造ると計画してから完成まで長い年月がかかります。

今回の企画展では、狭山市の橋を今は無い木橋から現代の橋までを写真資料でご覧頂きます。あわせて橋をつくる過程を写真資料で再現します。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、ご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます、開催のごあいさついたします。

平成20年3月 狭山市立博物館



くずはき橋



逆川橋



権現橋

講演会

「橋をつくる」

日時：4/20(日) 13時30分～15時

講師：国土交通省国土技術政策総合研究所職員

申込み：3/19日(水) 9時より、お電話で受け付けます。

工作会

昔、木でできた橋があった…工作会「木の橋をつくる」

日時：5/25(日) ①9時30分 ②13時30分

講師：「工作教室 MOONBASE」代表 月野俊介氏

参加費あり 申込み：4/24(木)9時より、お電話で受け付けます。



- ◇西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
- ◇西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅」終点で下車、徒歩3分
- ◇圏央道狭山日高インターより車で15分
- ご来館は電車・バスのご利用が便利です。

●開館時間：9時～17時

(入館は16時30分まで)

●入館料：一般150円(100円)

高校生・大学生100円(60円)

小学生・中学生 50円(30円)

()内は20名以上の団体料金

狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1(狭山稲荷山公園内)
TEL (04)2955-3804 FAX (04)2955-3811
<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum/>

写真で綴る狭山の橋



会期：平成20年3月15日（土）～6月8日（日）

狭山市立博物館

開催にあたって

本四連絡橋の開通により四国と本州の距離が縮まったことは記憶に新しいところです。当市は市域の中央やや北よりに入間川が、南部には不老川がそれぞれ市を分断するかのよう流れており、またこの川に平行に小河川がいくつも流れています。このため、橋がたくさん架かっています。当市では平成16年に入間川に架かる11番目の「いるまがわ大橋」が完成しました。

川は土地を分断し、分断された土地は、独自の歩みをします。それはその土地の風土といえるでしょう。物流で見ると川は、流れに沿っては大動脈となりますが、いざ横切るとなると物流の流れを阻害する大きな要因となります。

橋ができる前は、入間川では渡しがありました。渡しは天候や時間に左右され、天気が悪いと物資は停滞します。橋と渡し船との違いは、橋を「渡る人が渡ろうと意志決定をしたらいつでも誰の手を借りることなく渡れるもの」と定義すれば自ずと明らかになります。

橋の建設は、川が大きくなるに従って難しくなります。橋を造ると計画してから完成まで長い年月がかかります。

今回の企画展では、狭山市の橋を今は無い木橋から現代の橋までを写真資料でご覧いただきます。あわせて橋をつくる過程を写真資料で再現します。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、ご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げ、開催のごあいさつといたします。

平成20年3月 狭山市立博物館

凡 例

1. 本書は平成20年3月15日から6月8日までを会期とする企画展「写真で綴る狭山の橋」のパンフレットである。
2. 図版は展示資料の一部であり、図版掲載と展示の順序は必ずしも一致していない。また、展示資料は会期中に展示替えをおこなうため期間によっては展示されていない場合がある。
3. この企画展は、小淵良樹・石川友子が担当した。

展示資料

豊水橋銘板 2
豊水橋開通 絵はがき
馬車鉄道橋 絵はがき
石橋
逆川橋欄干
入曾橋銘板

1. 入間川に架かる橋

現在は上流から新豊水橋・入間川高架橋・豊水橋・広瀬橋・本富士見橋・新富士見橋側道・新富士見橋・昭代橋側道・昭代橋・狭山大橋・いるまがわ大橋の11の橋が架かっています。入間川高架橋は首都圏中央連絡道の橋です。新富士見橋側道橋は新富士見橋の上流側に架けられた歩行者と自転車専用の橋で、昭代橋歩道橋も同様の橋です。この昭代橋歩道橋は元々は自動車も通行できる「昭代橋」でしたが幅が狭いためすれ違いに苦勞する様になりました。そこで下流側に自動車用の「昭代橋」をつくり、この橋は歩道専用となりました。いるまがわ大橋は狭山で一番新しい橋です。

狭山市を流れる入間川は中流にあたります。河岸段丘を形成し、地形はそう険しくはありません。河原は広く、河原の両岸も広く平らな地形です。このような地形の川に橋を架けるとするならば橋脚をたくさん立てて造る桁橋（けたはし）が技術的にまた経済的に優れたものです。狭山市内の入間川に架かる橋もすべて桁橋です。同じ桁橋でも新富士見橋は橋桁が鉄筋コンクリート造りと他の橋とは材料が違います。

●新豊水橋（しんとよみずはし）

国道299号線のバイパス道路の建設に伴い新規に架設された橋です。

| | |
|------|---------|
| 橋梁形式 | 連続鋼鈑 |
| 長さ | 169メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 7 |
| 路線名 | 国道299号線 |



●入間川高架橋（いるまがわこうかきょう）

首都圏中央連絡道の建設で架設された橋です。入間川に架けただけではなく、河岸段丘の上部から高架でつながっている橋です。

| | |
|------|-----------|
| 橋梁形式 | 連続箱桁橋 |
| 長さ | 544.5メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 路線名 | 圏央道 |



●豊水橋（とよみずはし）

- ・昭和5年6月16日（1930）完成 鉄筋コンクリート製
- ・平成15年2月8日（2003）かけ替え 開通

| | |
|------|-----------|
| 橋梁形式 | 連続鋼鈹桁橋 |
| 長さ | 243.7メートル |
| 幅 | 14.5メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 8 |
| 路線名 | 国道299号線 |



現在の橋は3代目です。平成15年（2003）に開通しました。旧豊水橋は昭和5年（1930）に架設されました。建設以来74年がたち老朽化が進み、また幅が狭く大型車のすれ違いに支障をきたすことになりました。そこで架け替えとなりました。

●広瀬橋（ひろせはし）

- ・平成元年7月8日（1989）開通

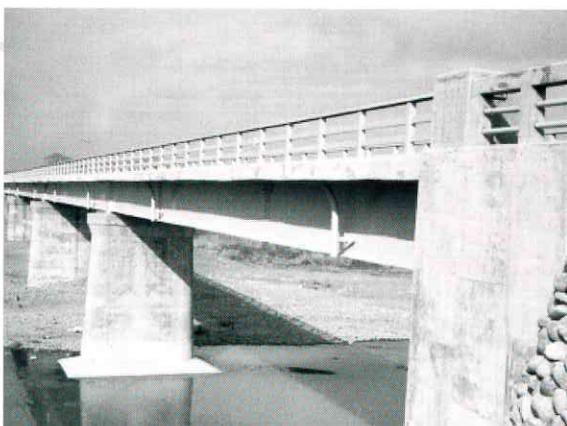
| | |
|------|-----------|
| 橋梁形式 | 連続鋼鈹桁橋 |
| 長さ | 200.3メートル |
| 幅 | 12メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 4 |
| 路線名 | 市道幹73号線 |



●本富士見橋（ほんふじみはし）

- ・大正12年8月（1923）完成 木橋
- ・昭和38年10月（1963）完成 コンクリート橋
- ・昭和50年 歩道工事
- ・平成5年 改修工事

| | |
|------|-----------|
| 橋梁形式 | 連続鋼鈹桁橋 |
| 長さ | 150.5メートル |
| 幅 | 6.85メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 4 |
| 路線名 | 市道幹5号線 |



もとは、富士見橋として大正12年（1923）8月に木橋として完成しました。

台風により木橋が流失してしまい復旧が考えられましたが、同橋の代替橋として新富士見橋を建設してほしいと建設省に陳情した経緯もあって、富士見橋は長い間そのままの状態で放置されていました。

こうした状態に変化が現れたのは、「首都圏整備法」に基づく川越・狭山工業住宅団地の整備が進むなかで、その早期架け替えが望まれるという社会的な背景が生じたためでした。これにより本富士見橋は、鋼鉄製の永久橋に架け替えられることになり、昭和38年10月に完成しました。できあがった新橋は幅員5メートル、全長150メートルで、新富士見橋を一回り小さくした規模で、本富士見橋と命名されました。

●新富士見橋側道 (しんふじみはしそくどう)

- ・平成7年8月1日(1995) 開通

| | |
|------|-------------|
| 橋梁形式 | 鋼鈹桁橋 |
| 長さ | 216.825メートル |
| 幅 | 2.5メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 7 |
| 路線名 | 県道262号線 |



●新富士見橋 (しんふじみはし)

- ・昭和31年8月6日(1956) 完成
- ・昭和53年(1978) 右折レーン拡幅工事
- ・平成7年8月1日(1995) 側道橋開通

| | |
|------|----------------|
| 橋梁形式 | 鉄筋コンクリートゲルバー桁橋 |
| 長さ | 186メートル |
| 幅 | 8メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 6 |
| 路線名 | 県道262号線 |

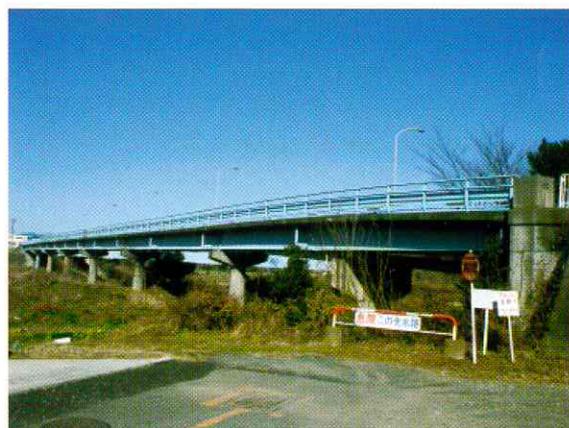


本橋は昭和31年に完成して以来、歩道の新設や右折レーンの取り付けによる拡幅の工事等を経て外観が変わってきました。当初の橋は橋脚にのる桁は湾曲していて優美な姿でしたが、歩道取り付けや拡幅工事で直線の桁を載せたため趣がかわりました。

●昭代橋側道 (しょうだいばしそくどう)

昭和42年に完成した2代目の橋です。この橋からコンクリートの永久橋になりました。幅が狭く交通量の増大に伴い新しい橋をすぐ脇に建設して、この橋は歩行者と自転車などの人道橋になりました。

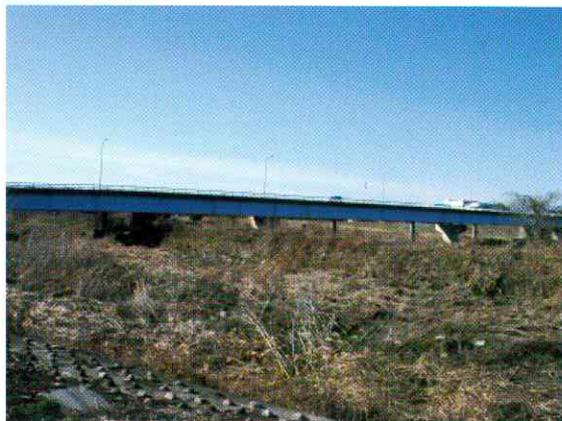
| | |
|------|---------|
| 橋梁形式 | 鋼鈹桁橋 |
| 長さ | 173メートル |
| 幅 | 4.5メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 6 |
| 路線名 | 県道260号線 |



●昭代橋（しょうたいはし）

昭代橋（初代永久橋 現側道橋）は建設当時から幅が狭く大型車がすれ違うのがやっとという状況でした。歩行者も車道を歩かねばならず、交通量の増大に対して危険な状態となりました。そこで橋を新しく作り、旧橋は歩行者専用の人道橋としました。

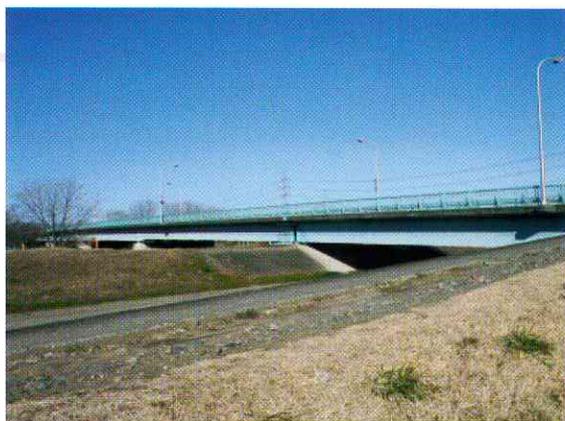
| | |
|------|---------|
| 橋梁形式 | 連続鋼鈹桁橋 |
| 長さ | 165メートル |
| 幅 | 7メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 3 |
| 路線名 | 県道260号線 |



●狭山大橋（さやまおおはし）

・昭和62年3月28日（1987）開通

| | |
|------|---------|
| 橋梁形式 | 連続鋼鈹桁橋 |
| 長さ | 379メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 6 |

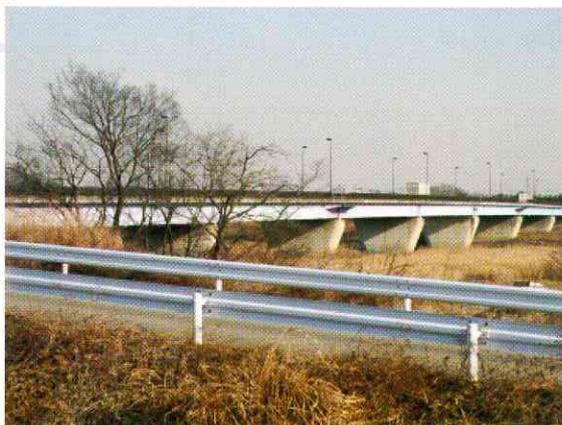


狭山市奥富と柏原を結ぶ橋。狭山環状有料道路として造られ、有料の橋です。

●いるまがわ大橋

・平成16年6月26日（2005）開通

| | |
|------|-----------|
| 橋梁形式 | 連続鋼鈹桁橋 |
| 長さ | 463.8メートル |
| 幅 | 43メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 橋脚数 | 9 |
| 路線名 | 市道幹75号線 |



都市計画道路柏原新狭山線。狭山市奥富と柏原を結ぶ橋です。

2. 不老川に架かる橋

入間川のように大きな川は、地域を大きく分けるので日常の生活ではそこを渡ることはそれほどの頻度は有りませんが、地域に流れる川は生活に密着しているため橋が近くにないと不便です。そのため橋がたくさん架かっています。不老川では29の橋が架かっています。

●不老橋（とすとらずはし）

| | |
|------|----------|
| 橋梁形式 | 桁橋 |
| 長さ | 6.6メートル |
| 幅 | 2.73メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 路線名 | 所沢狭山線 |



●入曽橋（いりそはし）

- ・昭和28年完成
- ・平成13年架け替え

| | |
|------|------------------|
| 橋梁形式 | プレテンション方式単純中空床版橋 |
| 長さ | 18メートル |
| 幅 | 15.2メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 路線名 | 県道50号線 |



●山王橋（さんのうはし）

| | |
|------|------------------|
| 橋梁形式 | プレテンション方式単純中空床版橋 |
| 長さ | 13.66メートル |
| 幅 | 12メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 路線名 | 県道8号線 |



●権現橋 (ごんげんはし)

| | |
|------|----------|
| 橋梁形式 | 床板橋 |
| 長さ | 10.2メートル |
| 幅 | 4.6メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 路線名 | 市道幹19号線 |



●草刈橋 (くさかりばし)

| | |
|------|----------|
| 橋梁形式 | 桁橋 |
| 長さ | 13.5メートル |
| 幅 | 6.75メートル |
| 路面形式 | 上路 |
| 路線名 | 市道幹57号 |



3. 道路に架かる橋

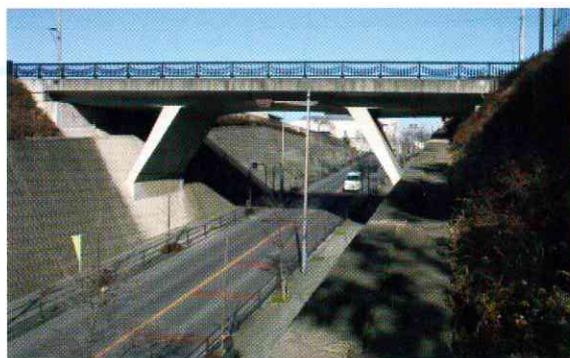
昔は橋と言えば川に架かるものでしたが、自動車など陸上交通が発達すると道路もおいそれとは渡れなくなりました。そこで自動車の流れを止めずに人がいつでも安全に渡れるということで歩道橋が造られました。また、道路の立体化も進み道路を渡る橋も造られています。高速道路の高架部分は橋の構造そのものです。

歩道橋は狭山市では15ヶ所架かっています。

●霞ヶ丘橋 (かすみがおかはし)

上広瀬土地区画整理事業にて架設されました。市内ではめずらしいラーメン構造の橋です。

・平成6年3月(1994) 完成



●入間川歩道橋

・昭和43年5月(1968)

市内初の歩道橋で入間川駅前通りに完成しました。

